

合併に賛成した人も  
反対した人も

# 知恵あつめ、自立のまちへ

## 合併協議会の解散を確認 合併押し付け破綻

2月9日、彦根市・豊郷町・甲良町・多賀町合併協議会が半年ぶりに開かれ、論議の末、同協議会の解散を確認。2年半の合併協議に幕が引かれました。

## 「住民こそ主人公」の流れ 止めることができず

協議会は補正予算(今回の開催経費59万4千円)の承認のあと意見交換に入りました。

町委員から「吸収合併」論議に対する意見や合併断念の費用弁償を求める発言のあと、中島会長は「市長として」発言したいと、断念に至る経過を説明。「結果として誠に遺憾であり、心苦しく思っている、…深くお詫びする」と述べた。町委員からは「残念」との発言が大半を占めた。中には「この2年半の論議は何だったのか」と根本を疑問視する意見や「合併をすすめる候補を」と彦根市長選挙に言及する委員もあつた。また「彦根市側からのまく引きは疑問」とも発言。

豊郷町委員から

## 「合併の是非判断の決議」提出

協議の途中、豊郷町委員の青山氏から「合併の是非を判断する決議」の動議がだされ、中島市長は退席。そもそもこの決議は協議会になじまないもの。協議会が自治と各議会を「決議」でしぼることはできません。この動議は最後まで逆転をねらった強行推進派が各委員の「踏み絵」にしようとならつたものと見られます。

「彦根市が合併断念を決めており、決議は意味が無い」など批判の意見が出され、結局、青山氏は動議を取り下げた代わりに、全委員が2年半の感想を述べることを提起。席に戻った中島会長が最後に「これ以上協議を続けることは困難。今後は円満な終息に向け調整をお願いし、今日を最後の協議としたい」と宣言。合併協議会の解散が確認さ

れました。

## 合併押し付けた 県当局、反省語らず

委員として出席した湖東振興局長の仲岸氏は「1市3町の合併は、歴史・文化・生活圏から見て自然の流れ。意向調査結果で立ち止まっていたのか。今後合併は避けて通れない」など、期限と合併特例債というまやかしの「恩典」で市町を追い込み、混乱させた責任には一切ふれませんでした。

## 運動団体

## 言いなりやめて

今後、3月議会で協議会廃止議案と約8千万円の合併関連予算の減額補正議案が提出される見込み。「単独」で落ち着いた以上、自立のまちづくりめざし、町民みんなが知恵を出し合うことが大切です。そのためには、だれもが参加でき、一部運動団体に偏らない町政運営が、何よりも大切なのではないでしょうか。

## 自立のまちをめざす 収入増・経費節約の 提案

(12月議会など、一例)

### 【支出】

- ・町長報酬の引き下げ
  - ・教育長を臨時職化
  - ・印刷費の削減
  - ・法終了の同和関連費
- これら全てをリストアップ、行政・議会・町民で論議

### 【収入】

- ・個人所得の安定・伸張ために農業振興と新たな産業育成・企業誘致
- ・残地処分、地代回収
- ・固定資産税の同和減免廃止(所得制限導入)
- ・課税漏れ物件の調査



## 甲良民報

2005年2月13日 No275  
発行責任：日本共産党甲良町支部  
代表：西澤伸明 甲良町在土463  
Tel.Fax38-4949  
Eメール [info@jcp-nobuaki.com](mailto:info@jcp-nobuaki.com)  
のぶあきホームページ  
<http://www.jcp-nobuaki.com/>